

技術ほどに技能は語り継がれない・・・

森 和夫「ハイテク時代の技能労働」あとがきより 1995

技術ほどに技能は語り継がれない。しかし、技能は人の生活であり、生き方そのものであり、文化そのものである。人は技能によって生活を成り立たせ、技能によって社会を作り上げる。技能が語り継がれないのには理由がある。技能は非言語的で具体の産物であるからだ。「言語になじまない技能」を語るには困難があろう。技能は人によって受け継がれるのである。だから、技能の伝承という言葉を使う。人の生涯をつなぎ合わせて今日の技能を見ることができるとだ。われわれが技能を大事に思うのは技能が人間自身に深くかかわるものであり、何よりも人間が主体的にかかわる点にある。人間自身のありようが技能の成果や技能の内容に投射され、表れるからである。子どもが母親から毎日の生活の技能を受け継ぎ、育まれる時、そこには技能でしか見ることのできない微笑ましい伝承の典型を見ることができるとだ。技能はかくほどに人間的である。

(著者あとがきより)